

152

国鉄クモハ43形 制御電動車

GREENMAX

板状未塗装キット・旧型国電シリーズ

別売アイテム

- 台車 #5024:TR23
- 動力ユニット #5501:DT13
- パンタグラフ #5802:PS13
- スノーブロー #62
- 排障器 #62-1
- 車両マーク #6301

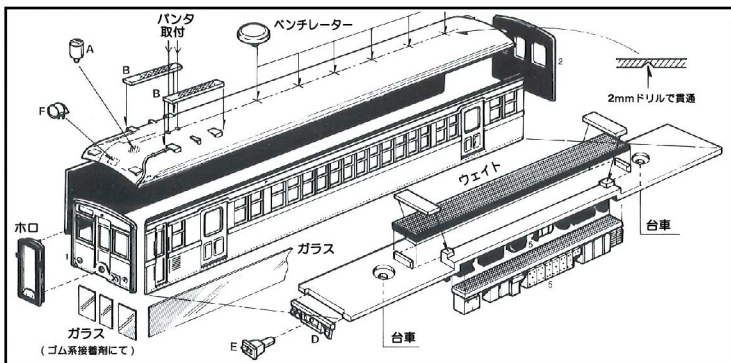
カラーガイド

- ボディ ⑤+⑦/③+⑩ 等※
- Hゴム ⑥
- 屋根 ④
- 屋上機器 ⑨
- 床下 ⑩

※ボディの塗色は「車両ガイド」項もご参照ください。

ドリル刃ガイド

- 1.2mm: パンタグラフ取付穴
 - 1.5mm: 避雷器取付穴
 - 2.0mm: ペンチレーター取付穴
- ※数字は直径です。



ボディーの組み立て

前後妻板、左右側板、屋根板をすき間の出来ない様注意して組み立て、全体を塗装後に裏から窓ガラスを接着します。床板は上面に鉄板のウェイトを2本のウェイト止め(何も刻印のない平板)で固定し、下面には床下器具ユニットを左右にふり分けて接着し、車体にはめ込みます。図のようにDの駒受け、Eのダミーカバーは編成の先頭になる車両のみに使用し、その場合台車のカバーポケットは先端部よりカットして当たりを避けます。

屋根上には後部6個のガイド穴を貫通させてペンチレーターを取り付け、またパンタ脇のランボードB、避雷器A、ライトFを指示の位置に接着(避雷器取り付け穴は各自開穴)。

前面の貫通ホロはすべての組立、塗装が終わった段階で少量のゴム系接着剤で取り付けます。部品Cは使用しません。

車両ガイド

42系は京阪神間の省電運転に際して登場した20m2扉クロスシート車の総称ですが、戦後ロングシートの2扉制御車もクモハ47形に編入されたため、雑多なグループを形成するに至りました。本キットは末期まで原型を保った平妻型の片運車をモデル化したものです。表面であるクモハ43あるいはクハ47100のほか、ナンバー変更のみで出力増強タイプのクモハ53が製作可能です。

塗色は当初ぶどう色2号(GMカラー②)でしたが、横須賀線への転出にあたってクリーム×ブルーのいわゆる「スカ色(当初のものは色調が異なる)」に模様替えしました。しかし、再度の地方転出でぶどう色に戻るも、飯田線では快速用に抜擢されて専用色(同③+⑦)や湘南色(同③+⑩)を経て、新性能車と同じスカ色(⑤+⑦)に落ち着きました。低屋根改造されて大系線でスカイブルー(同⑥)を纏ったものや、ぶどう色に黄色の警戒色(②+⑩/小野田)となった両運車などのカラーリングは少数派でした。例によって他系列との編成も多く見られ、3扉車の中に組み込めば模型でもよいアクセントとなることでしょう。【丸囲み数字はGMカラーNo.】

編成例

クモハ43を含む飯田線4連(スカ色・1970年頃の17m、20m混結)



低屋根43形を含む身延線4連(スカ色・1970年頃)

